

福井小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 学習規律の確立による、児童の学習意欲・教師の指導力向上
- 「主体的な学び」を育む授業の創造

校長

鶴本正道

学力向上推進員

教頭 笹川亨
 低学年推進員 三間 由美
 中学年推進員 末廣 大典
 高学年推進員 片山 トシエ

【各校の取組状況の把握について】

授業研究会を中心に教員が相互に授業参観し合い、アドバイスし合って、指導方法の改善点や効果を検証し取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○与えられた課題に真面目に取り組んで学習できる児童が多い。</p> <p>○全体的に見ると、基礎的な学力はつきつつあるが、学年間での差が見られる。</p> <p>●学力の定着、またその活用が十分でない児童がいる。</p> <p>●語彙が少なく、記述が苦手な児童がいる。</p> <p>●長文を読み取る力が弱い。</p>	<p>・基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付ける。</p> <p>・豊富な語彙で話す・書くことができる。</p> <p>・学習の過程で身に付けた知識を、既習の知識と関連付けたり他の学習や生活に生かしたりすることができる。</p>	<p>・小テスト・視写・認知機能トレーニング・ドリルパーク学習など、学習の基礎的なトレーニングを継続し、学習意欲を高め集中力を持続できるようにする。</p> <p>・毎日の日記指導やスピーチの機会を生かし、豊富な語彙での話す・書く力を向上させる。</p> <p>・音読カードを活用して継続的な音読指導に取り組んだり、週末読書を推進して読む力を向上させたりする。</p>	<p>【わかたけ】</p> <p>・読む活動や作文を継続して、語彙や漢字の習得をさらに定着できるようにする。</p> <p>【低学年】</p> <p>・引き続き教室掲示やカードを工夫して定着を図る。基礎的な学力はつきつつあるが、個人差が大きい。</p> <p>【中学年】</p> <p>・読書や帰りの会のスピーチを継続し、相手に伝わりやすい伝え方や語彙数を増やしていく。</p> <p>【高学年】</p> <p>・繰り返しの復習やスモールステップテスト等で基礎的な力の向上を図りつつあるが、文の内容を読み取る力や文章作成力等も向上させていく。</p>	<p>【わかたけ】</p> <p>・ことばあそびなどの児童が取り組みやすい学習活動を通して、語彙の増加やコミュニケーション力の伸長が見られた。</p> <p>【低学年】</p> <p>・表計算のカードやフラッシュカードを使って、繰り返し基礎的なトレーニングを継続した。</p> <p>【中学年】</p> <p>・読書やスピーチを継続したことにより、国語の授業から文章を書く力の向上が見られた。</p> <p>【高学年】</p> <p>・漢字を書く力や基本的な計算問題には、学力の向上が感じられた。</p> <p>・文章題や割合の問題では、問われている意味把握が十分でできずミスをするつまずきが多く見られる。</p>	<p>【わかたけ】</p> <p>・漢字の復習や算数的な活動にICT機器をより積極的に取り入れ、個に適した学習方法を模索する。</p> <p>【低学年】</p> <p>・日頃の算数的な活動を増やしていくことで、児童に基礎的な能力を身につけさせたい。</p> <p>・子ども新聞等を活用し、文章を正確に読むトレーニングを重ねていきたい。</p> <p>【中学年】</p> <p>・子ども新聞等を活用し、内容を要約したり、見たことや考えたことをメモしたりする習慣を身につけさせたい。</p> <p>【高学年】</p> <p>・学習してしばらく日が経つと、学習内容の定着が薄れていることがあるので、常に繰り返しの復習をして学力の定着を図る。家庭学習の出し方も工夫する。</p>

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○学習課題に対して、自分なりの考えを表現することができる。</p> <p>○タブレットの活用に慣れ、自分の考えをまとめたり、友だちと意見を交換したりしながら学習を進めることができつつある。</p> <p>●問題の要点をつかんだり、必要な情報を選択したりすることが苦手な児童がいる。</p> <p>●考えをペアやグループで共有し、練り上げてさらに高めていくことに関して課題がある。</p>	<p>・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えを見直したり膨らませたりする。</p> <p>・自ら課題を見出し、その解決に向けた方向性を考え、他者と協力し、必要な過程を計画・実行しながら解決まで導くことができる。</p>	<p>・考え方の手立てや話し方のパターンなどを示し、課題に応じた考えること・書くこと・話すことにより一人一人が慣れていけるようにする。</p> <p>・学習内容に応じた学習形態や学習思考ツールの工夫をする。</p> <p>・授業中だけでなく、朝や帰りの会、全校朝会など、様々な学習活動の中で、自分の考えを書いたり話したりする機会を意図的に設ける。</p>	<p>【わかたけ】</p> <p>・自立活動の時間を使って、よりよい意思表示の仕方やより多くの語彙の習得を図る。</p> <p>【低学年】</p> <p>・授業中、自分の考えを自分の言葉で表現できる児童が増えてきた。</p> <p>【中学年】</p> <p>・全体学習の前にペア発表をして、自信をつけるから発言できるように促していく。</p> <p>【高学年】</p> <p>・ペア学習、全体学習、ICTオクリンクプラスの活用などによって思考の共有ができつつある。さらに効果的な思考ツールの活用を活発にしていく。学力向上につながるノート指導をする。</p>	<p>【わかたけ】</p> <p>・自分の思いや伝えたいことを正しい語彙や表現で相手に伝えることができるようになってきた。</p> <p>【低学年】</p> <p>・自分の考えを表現できる児童が増えてきている。</p> <p>・話し方のパターンを示すことで、児童が話の組み立てを意識して、話すことに慣れてきた。</p> <p>【中学年】</p> <p>・自信をもって発表をする児童が増えているため、授業に意欲的に取り組んでいる。</p> <p>【高学年】</p> <p>・日々繰り返し取り組んだスピーチは、自分の思いを短時間でまとめて他者に伝える力の向上に役立った。</p> <p>・与えられた問題の意図を正しく理解し問題に取り組む点で課題が残る。</p>	<p>【わかたけ】</p> <p>・話したり書いたりする活動をより重点的に取り入れることで、表現の幅が広がることやよりよい伝え方のさらなる習得をねらう。</p> <p>【低学年】</p> <p>・友達と相談したり、意見を交換したりする機会を増やして、自分の考えを膨らませている児童を育てる。</p> <p>【中学年】</p> <p>・ICT機器や思考ツールを活用し、児童が考えたり表現したりする方法の選択肢を増やしていく。</p> <p>【高学年】</p> <p>・紙媒体のもの、ICT機器などの思考ツールを活用したものの、聞き取ったものなど、いろいろなパターンの問題形式に慣れさせ、スムーズに思考できるように学習内容を工夫していく。</p>

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○体験的な学習を好み積極的に活動する。</p> <p>○朝の学習(チャレンジタイム)や読書の習慣が定着しており、与えられた課題には前向きに取り組む。</p> <p>●自ら課題を見つけたら、難しい問題に粘り強く取り組んだりすることができない児童や集中して学習するために支援が必要な児童がいる。</p> <p>●家庭学習に丁寧に取り組めなかったり、家庭読書の時間が短かったりする児童がいる。</p>	<p>・学習に粘り強く取り組むとともに、自らの活動を振り返って学習の成果や課題を今後の生活や学習につなげることができる。</p> <p>・課題解決の体験を積み、分かる楽しさを体験し、学習に意欲や自信をもつことができる。</p> <p>・自主学習に励み、自分のできていないところに気づき、復習し、学力の向上に主体的に取り組むことができる。</p>	<p>・意欲的に学習に取り組めるような導入や課題づくりの工夫・改善を行う。</p> <p>・児童の思考の流れに沿った授業展開や教材・教具の工夫をする。</p> <p>・スモールステップでの成功体験を大切にす。</p> <p>・「家庭学習の手引き」「自主学習の進め方」を活用したり手本となる自主ノートを掲示したりして、自主学習への意欲が持続できるようにする。</p>	<p>【わかたけ】</p> <p>・毎時間初めに学習手順を提示することで児童が主体的に学習を進めることができるようになってきた。</p> <p>【低学年】</p> <p>・学習準備、学習規律は定着しつつある。ポジティブ支援でできたことをフィードバックする。</p> <p>【中学年】</p> <p>・国語や算数でスモールステップでの成功体験を増やし、達成感を多く味わうことにより、意欲的に学習に取り組むようになりつつある。</p> <p>【高学年】</p> <p>・ICT(みらいシード・タブドリ・スイッチオン等)で、個に応じた課題に取り組み学習を進められている。</p> <p>・家庭学習の時間が少ないと感じる。自主学習などへの取組をさらに充実させられるように支援していきたい。</p>	<p>【わかたけ】</p> <p>・主体的に学習を進められることが多くなってきた。教師が前向きな働きかけをすると、苦手なことにもチャレンジできる。</p> <p>【低学年】</p> <p>・実物を操作したり、ゴールを共有したりして意欲的に取り組めるような学習の工夫をした。その結果、自分で試行錯誤したり、友達と意見を交わしたりして、課題に取り組むことができた。</p> <p>【中学年】</p> <p>・スモールステップでの成功体験を増やし、意欲的に学習に取り組むようになってきた。</p> <p>【高学年】</p> <p>・学習内容に効果的なツール(ICT機器など)を用いて学習を進めることがスムーズにできるようになり、課題を終えた後の復習にも役立てることができた。</p>	<p>【わかたけ】</p> <p>・課題の提示の仕方や授業の展開を工夫する。個に応じた方法でより効果的に学習成果が得られる授業づくりを心がける。</p> <p>【低学年】</p> <p>・体験的な活動を中心にして、意欲的に学習に取り組める授業を組み立てていく。</p> <p>・ゴールを明確にして、成功体験を増やす。</p> <p>【中学年】</p> <p>・スモールステップのハードルを少しずつ上げたり、学習で学んだことを日常生活につなげたり、児童が主体的に取り組めるように働きかけたい。</p> <p>【高学年】</p> <p>・タブレットでの課題配信や難易度のちがうプリントなど、個別最適な学習課題により、学力向上につながるよう支援する。</p>